

オプトアウト

「糖尿病患者における膵癌発生リスクに関する後ろ向き観察研究」について

当センターでは下記の通り臨床研究(学術研究)を実施しています。この研究は診療記録と検査結果に基づいて行われます。厚生労働省・文部科学省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し、倫理委員会の承認のもとで実施されます。

研究背景

膵癌は予後不良の疾患で、予後改善のためには早期診断が必要ですが、現時点で膵癌のスクリーニング法は確立していません。これまでの研究で糖尿病は膵癌のリスク増加と関連することが示されており、糖尿病をターゲットとすることで効率的な膵癌のスクリーニングを行える可能性が有ります。

研究目的

糖尿病に合併した膵癌患者の実態を明らかにすることで、糖尿病患者における膵癌スクリーニングに活用するのが目的です。

研究対象

2017年1月から2021年12月までに当センターで糖尿病で治療中に膵癌と診断された患者さんを対象としています。

研究方法

上記の患者さんの過去の臨床データをカルテ情報を元に収集して分析します。治療内容の決定、変更は通常の診療の一環として行われ、本研究のために特別な検査・投薬を追加することはなく、患者さんに負担を求めることはありません。

個人情報保護に関する配慮

診療内容には個人情報が含まれるため、個人が特定されない方法で解析を行います。対象となる患者さんの情報を識別する目的で本研究専用番号を振り分けるため、個人情報は固く守られます。研究成果を学会発表や論文投稿の形で開示することがありますが、その際は統計的に処理されたデータのみを公表いたしますので、患者さんの個人情報が流出することはありません。

研究に関するお問い合わせ

患者さんからのご希望があれば、診療情報を研究に使用しないことが可能ですので、下記連絡先まで申し出てください。診療情報の使用に同意いただけても患者さんに不利益を生じることはありません。

研究担当

日本赤十字社和歌山医療センター 糖尿病・内分泌内科

研究代表者 廣島知直

共同研究者 朝井勇晶、伊藤沙耶、稲葉秀文、金子至寿佳

〒640-8558 和歌山県和歌山市小松原通四丁目20 TEL 073-422-4171(代表)

本研究は東北大学大学院医学研究科 消化器病態学分野・糖尿病代謝内科学分野主導の共同研究です。